

(業務名称) 2026年度～2028年度 JICA九州 学校教育及び市民向け国際理解推進業務委託契約

(公告日：2025年10月24日 調達番号25c0043500000) について、意見招請実施要領に関する質問と回答は以下のとおりです。

独立行政法人国際協力機構

JICA九州 契約担当役 所長

通番	該当頁	該当項目	質問	回答
1	P1	2. 業務の目的 (業務委託の各プログラム)	<p>提示の業務内容を拝見し、教育事業・イベント運営・広報など、多様な専門性を要する非常に広範な構成であると認識しております。特に、(2)(3)の地球ひろば関連業務と、(1)～(7)の教育・研修系プログラムでは、その目的や実施手法が大きく異なるため、それぞれに最適化した体制を構築することで、より効果的かつ効率的な成果が得られるのではないかと考えております。また、教育・研修系プログラムにおいても、(1)国際協力出前講座と(4)JICA研修員との交流はセットで実施するのが効果的であると考えます。このような観点から、委託範囲を分割・再構成する可能性についてご検討いただく余地はございますでしょうか。</p>	<p>ご意見を踏まえ、本公告に向けて、「分割・再構成」の可否・有無を検討いたします。参考見積書(11月19日(水)正午締切)のご提出に際しては、可能であれば、業務全体の見積と御社が希望するように業務分割した場合の見積を分けてご提出いただけますと幸いです。</p>
2	P24	5-9. 広報 (応募勧奨、参加促進、認知度向上等)	<p>本案件の進行体制につきまして、私どもの認識とご提案をお伝えいたします。</p> <p>まず、本事業は大きく以下の3つの領域で構成されていると認識しております。 ① 現場での活動一式 ② 活動に伴う情報発信 ③ 事後の情報拡散 これら3つの領域はそれぞれ独立させるのではなく、全体を通じて一貫性を持って進行させることが不可欠です。</p> <p>しかしながら、「①現場活動」を得意とする事業者が、必ずしも「②情報発信」や「③事後拡散」においても最適な動きができるとは限りません。そのため、全体最適化を図る体制として、「②情報発信・③事後拡散」を担う事業者がプロジェクト全体を主導し、包括的な広報戦略を立案した上で、「①現場活動」の事業者をディレクションする形が望ましいと考えております。</p> <p>つきましては、事業者選定におきましても、「現場業務」と「広報戦略・情報拡散」のそれぞれで個別に入札を行うことが理想的かと存じますが、このような進行方法についてご相談可能でしょうか。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。本件業務における広報・情報発信は、仕様書(案)5-9に記載のとおり、各イベント・活動への応募勧奨・参加促進・認知度向上等を目的とするものですので、各イベント・活動の実施と一体で実施すべきものと考えており、ご提案のような形で業務を分割することは想定しておりません。</p>